

# テスト漬け解消求める

大阪市議会 山中市議が訴え



質問する山中議員  
5日、大阪市議会

日本共産党の山中智子大阪市議は5日の市議会教育こども委員会で、大阪市内で急増する不登校（陳情時点で中学生4917人、9・61％）の原因の一つであるテスト漬けの解消などを求める陳情を取り上げ「不登校の原因を必死で突き止め、変えるところは変えなくては」と表明しました。

山中氏は「子どもがテストで疲れている」という保護者の声や「テストのための勉強で、勉強がおもんない」と学校に行かなくなった子どもの声を紹介し、テスト漬けの解消を求めました。

教育長は「不登校には、いろんな原因があると考えている」と認識を示し、テストも含め、子ども一人ひとりに応じた取り組みをしていると答弁。山中氏は、「毎月のようにテストをするより、クラスの人数を減らせば一人ひとりがみえてくる」と指摘。「文部科学省によっても少人数学級の効果が認められ、一歩ずつ進んでいるが、不登校、いじめ、教員のなり手不足などの現状を考えれば、劇的にクラスサイズが小さくなるのが求められる。大阪市内独自でより少人数学級の実現を」と求めました。